



あすか野小だより NO.16

☆☆☆ 一人ひとりが輝く学校 ☆☆☆

生駒市立あすか野小学校
学校だより 2025.3.24

2学期末に実施しました「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。結果について、教職員で共有、総括を行いました。次年度に向けてさらによりよいあすか野小学校の教育活動がさらによりよいものに進化していくために、反映させていただきます。次年度もご理解・ご支援よろしくお願いたします。

児童				保護者			
番号	内容	A+B %	増減	番号	内容	A+B %	増減
①	友だち、先生や地域の方たちに自分から進んであいさつをしている。	84	-3	①	子どもは、友だち、先生や地域の方たちに自分から進んであいさつをしている。	60	0
②	廊下は走らず、右側通行ができています。	68	-4	②	子どもは、正しい歩行の仕方を身に付け、交通ルールを守って登下校している。	86	-2
③	登下校の時、交通ルールを守って歩いている。	93	+1	③	子どもは、遊びや運動を通して体を動かす楽しさを実感し、進んで運動に取り組んでいる。	83	+1
④	体を動かして遊んだり運動したりすることが楽しい。	80	+1	④	子どもは自ら学ぶ姿勢を持ち、学習内容の定着を図ることができる。	79	+2
⑤	日記や作文を書くことは楽しい。	65	+3	⑤	子どもは、お互いの違いを認め合い、一人ひとりの存在や思いを大切に作る仲間づくりをしている。	86	-2
⑥	何事も最後までやり通すことができた。	84	-2				
⑦	友だちがこまっている時に声をかけたり助けたりしている。	87	+4				
⑧	みんなから大切にされ、安心して学校生活を送ることができる。	85	+2	⑥	話し合い活動を通して子ども同士のコミュニケーション力が育っている。	80	-1
⑨	自分にはよいところや得意なことがある。	88	+1				
⑩	話し合い活動で進んで自分の意見を言うことができている。	76	-2	⑦	子どもは、ゲストティーチャーや体験学習からよく学んでいる。	85	+5
⑪	地域の人やゲストティーチャーの方としっかり学習できた。	84	+3				

アンケート結果より

保護者の皆様の学校評価アンケートでは、7項目中5項目において、A「そう思う」B「おおむねそう思う」とご回答いただいた割合が80%以上の肯定的な評価をいただきました。一方、例年課題とされている「あいさつ」についての項目は60%と低い結果となりました。あいさつはコミュニケーションの基本、人間関係を築く上での基盤であり、あいさつが習慣づくよう、保護者や地域の皆様にもご協力いただきながら、取組を強化していきたいと考えております。

【あいさつの励行】

「あいさつ」に関わる月間目標の設定、児童会が中心となつての「挨拶運動」、全校朝会で取組の紹介など、様々な取組を実施しました。社会を明るくする運動作文や小さな親切運動作文などにあいさつに関わる内容を書く児童も増え、意識は高まりつつありますが、子どもと大人の意識に差がみられることを踏まえ、次年度も力を入れて取り組んでまいります。家庭・地域・保護者が連携し、それぞれの場面でいつでも自然にあいさつができるよう習慣づけたいと思います。ご協力よろしくお願いたします。

【交通ルールを守って登下校】

保護者(86%)、児童(93%)と比較的高い評価となっています。この結果は、地域の見守り隊の方、保護者ボランティアの方の毎日の見守り活動のおかげであり、一年間本当にお世話になりました。おかげで大きな事故やけがなく、安全に通うことができました。一方、急な飛び出しや歩道のないところを渡っていると報告もあり、その都合、指導はしてまいりましたが、学校での廊下歩行が徹底できなかったことは課題であり、繰り返し指導をしていく必要があると考えています。

【体を動かす楽しさを実感する】

本年度、体力向上の一貫として、「外遊び、みんなでチャレンジ!」(1学期:グループドッジパス、2学期:縄跳びチャレンジ、3学期:大縄跳び)に全校児童が取り組みました。目標記録を設定し、休み時間に一生懸命練習したり、学年行事として取り組んだりする中で、運動習慣の定着を図ることができました。

【仲間づくり】

児童が「友達が困っているときに声をかけたり、助けたりしている」「みんなが大切にされ、安心して学校生活を送ることができる」「自分にはよいところや得意なところがある」の3項目について、肯定的に回答した割合(87%、85%、88%)と昨年度に比べて若干上昇しています。一方、1割を超える児童が否定的な回答をしていることや保護

者アンケート(86%で-2ポイント)の結果について、学校として真摯に受け止めております。教員が思い描いているところに達していない実態もあります。定期的なアンケート(こころと生活のアンケート、いじめに関するアンケート、人権を確かめ合うアンケート)はもとより、子どもが抱えている不安の在り様を早い段階でキャッチできるよう、保護者の皆様とも連携・協力してまいりたいと思います。また、集団づくりなどのグループワークなどを通して、全ての子どもたちが「学校が楽しい」「仲間と活動するのは楽しい」と思えるよう、取組も推進していきます。

【自ら考え、主体的に行動できる児童の育成】

昨年度より追加した項目で、保護者のアンケートでは79%と2ポイント上昇しましたが、課題がみられる項目です。

本校は、全国学力・学習状況調査において、毎年、全国平均や県平均を上回っていますが、「話すこと・聞くこと」の領域については、全国と同様に正答率が低くなっています。ICT 機器を積極的に活用しており、「情報の扱いに関する事項」の項目には改善がみられますが、話し合い活動や交流を通して、児童のコミュニケーション力や表現力を高めるような魅力ある授業づくりに取り組んでまいります。また、児童が「主体性」「一体感」「達成感」を味わうことができる行事の具現化に向けて、検討しております。

【豊かな体験学習】

ゲストティーチャーを招いた体験活動は、児童・保護者・教職員ともに肯定的な評価が高くなっています。

ここ数年、保護者アンケートの【来年度取り組んだらよいと思うもの】の1位にあがっており、右の吹き出しに示したように「学校創造推進事業」として、力を入れております。引き続き、予算の確保や多様な人材の発掘など、さらに活動が充実するよう工夫してまいります。

～令和6年度 学校創造推進事業の内容～

全体：読書活動 生駒お話の会読み聞かせ 等

1年生：交通安全教室 助産師訪問「いのちの大切さ」、昔遊び体験

2年生：異文化交流（「スーホーの白い馬」を通じたモンゴル文化）助産師訪問

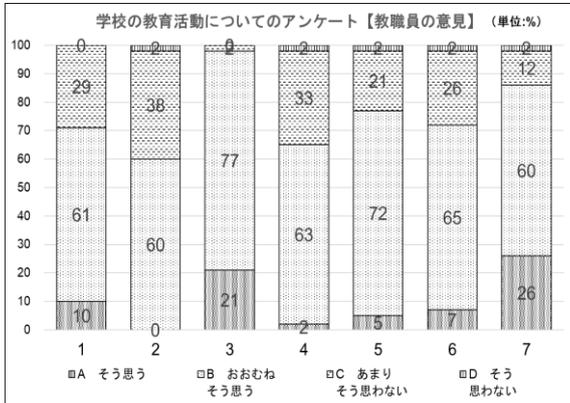
3年生：昔のくらし（ふるさとミュージアム）

4年生：交通安全教室（自転車） 手話・点字・車いす体験 パッカー車体験

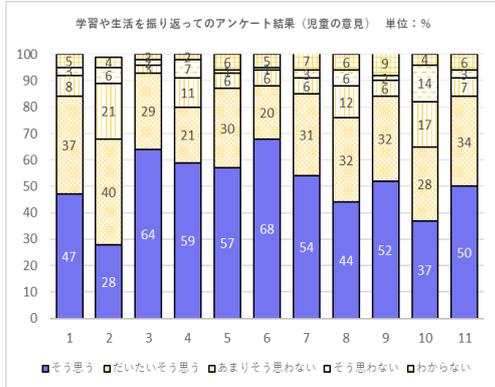
5年生：SDGs キャリア教育 弁護士によるいじめ防止出前授業

6年生：キャリア教育 日本の音楽 薬剤師による薬物乱用防止教室

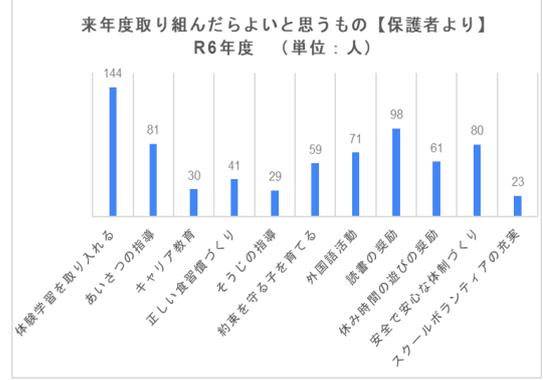
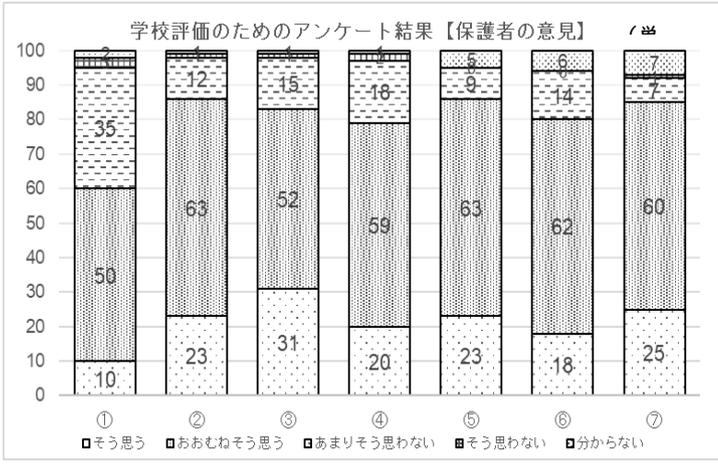
合計 21事業、の44日



- 1 「おはようございます」「さようなら」等、自分から進んであいさつできる子が育っている。
- 2 正しい歩行(廊下・通路)方法を身に付けている。
- 3 遊びや運動を通して体を動かす楽しさを実感できる子が育っている。
- 4 自分の意思をもって主体的に行動する子が育っている。
- 5 お互いの違いを認め合い、一人一人の存在や思いが大切にされるなまづりをする事ができている。
- 6 話し合い活動を通して児童のコミュニケーション力が育っている。
- 7 ゲストティーチャーを招くなど、体験学習を通して子どもが学んでいる。



- ① 地域の方や先生や友だちに自分から進んであいさつができた。
- ② 廊下を走らないように気をつけていた。
- ③ 登下校の時、交通ルールを守って歩いている。
- ④ 体を動かして遊んだり運動したりすることが好きだ。
- ⑤ 友だちがまわっている時に助けたことがある。
- ⑥ 自分にはよいところや得意なことがある。
- ⑦ みんなから大切にされ、安心して生活できた。
- ⑧ 話し合い活動で自分の意見を言うことができた。
- ⑨ 地域の人やゲストティーチャーとしっかり学習できた。
- ⑩ 日記や作文を書くことは楽しい。
- ⑪ 何事も最後までやり通すことができた。



- ① 子どもは、友だち、先生や地域の方たちに自分から進んであいさつをしている。
- ② 子どもは、正しい歩行の仕方を身に付け、交通ルールを守って登下校している。
- ③ 子どもは、遊びや運動を通して体を動かす楽しさを実感し、進んで運動に取り組んでいる。
- ④ 子どもは自ら学ぶ姿勢を持ち、学習内容の定着を図ることができる。
- ⑤ 子どもは、お互いの違いを認め合い、一人ひとりの存在や思いを大切に仲間づくりをしている。
- ⑥ 話し合い活動を通して子ども同士のコミュニケーション力が育っている。
- ⑦ 子どもは、ゲストティーチャーや体験学習からよく学んでいる。

3月12日(水)学校運営協議会委員のご意見・ご助言

本校では、年3回(6月・12月・3月)に、PTA及び地域の代表の方に集まっていただき、学校運営協議会を開催しております。3月12日(水)第3回学校運営協議会において、児童、保護者の方のアンケートをもとに次年度の方向性について協議及び確認をいたしました。貴重なご意見・ご助言をありがとうございました。次年度の教育活動にかしてまいります。

【豊かな体験活動について】

○ゲストティーチャーを招いた様々な体験活動は、児童・保護者・教職員ともに肯定的な評価が高い。多様で豊かな体験がとても良い。次年度も継続してもらいたい。

○子ども会が復活する地域もあり、4地域(あすか野、あすか台、白庭台、西白庭台)を超えて、子どもたちが他の地域のイベントに参加できるよう、学校と連携して働きかけていきたい。

【体を動かす楽しさを実感する】

○「外遊び、みんなでチャレンジ!」に全校で取り組んでいることは素晴らしい。また奈良県教育委員会のHPにおいても、あすか野小学校の入賞の記録が掲載されていることを知った。次年度も継続してもらいたい。

【自ら考え、主体的に行動できる子どもの育成】

○遊びや運動の評価が高いのに比べて、コミュニケーション力に関する項目が低いのが気になる。

○企業においても、学校と同様(人前で意見を言うことが得意でない)の傾向にある。大人でも書くことには長けているが、話すことが苦手という人も多い。子どもの頃から、対話をするのが何より、大事である。

○あすか野小学校は体験活動が充実しているので、学んだことをまとめ、発表する機会があれば、話す力も高まるのではないかと。(情報を得る→自分の考えを整理する→友達と意見を交流し、考えをまとめる→発表する)

【安心安全な学校づくり】

○校内サポートルーム(不登校支援)や通級指導教室が充実されることはとてもよい。学校に行きたくなる第一歩として、あいさつは重要であると思われる。

○定期的に「こころと生活のアンケート」やいじめの調査、カウンセリング等を実施され、児童の実態把握に努められている。いじめについては表面的に見えてくる課題に対応するだけでなく、潜在的なケースの拾い上げも大事である。

【あいさつの励行】

○小さな親切運動作文「社会を明るくする運動作文」「人権メッセージ」等であすか野小学校の児童が入賞を果たしていると聞いた。作文の中で、児童が見守り隊の活動や地域活動の活性化にも触れられており、とても嬉しく思っている。

○大人から挨拶が返ってこないことがあり、子どもだけではなく大人の啓発も含めて、継続した働きかけが必要と思われる。

【その他】

○学校地域協働本部の活動は、人員不足が課題である。見守り活動や青少年指導委員、放課後子ども教室の活動など、学校を応援できるメンバーが高齢化している。今後の活動が十分できるか懸念される。